

本校が目指す 5 年後の姿（具体的な目標）

I 学校の現状や課題

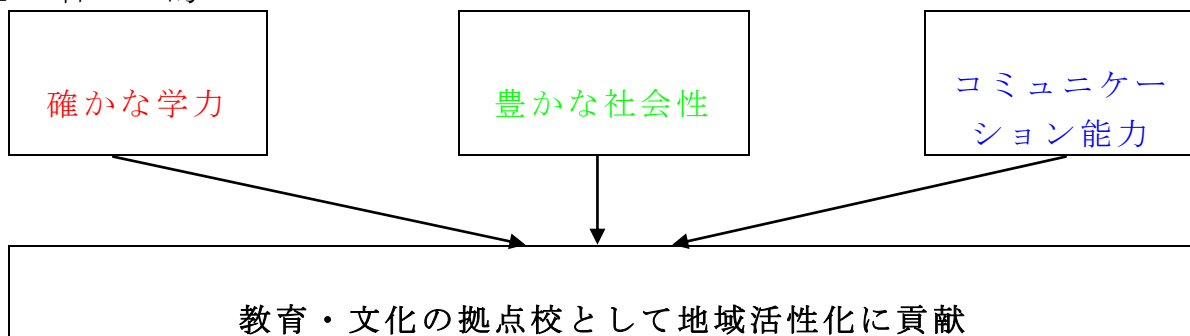
本校は、地域の生徒数減少による入学者数の減少が続いたことから、平成 22 年度学級減を行い、現在は 2 学級規模の学校となっている。落ち着きがあり素直な生徒が多い。積極的に各場面で熱く燃えるような意欲を持って活躍しようとする生徒を育てるために、一人一人が活躍できる場を学校全体で設定しながら、社会性やコミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。さらに、多様な能力を発揮できる数多くの場の設定が必要と考えている。

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

湯沢・雄勝地区の中学校卒業者数は、今後 5 年間で大幅に減少し、他地区への移動がないものとしても高校生全体として約 10 学級分が減少すると予想されている。こうしたことから、本校は地域に根ざした特色ある学校づくりをテーマとして様々な取り組みを始めている。具体的には地域連携を軸とした雄勝高校の将来構想を推進していくために、平成 22 年度から地域連携コーディネーターを配置したほか、地元の祭りや行事に自主的に参加し地域に密着した取り組みを展開している。地元からの要望も年々大きくなってきている。

III 目指す方向や学校像

1 目 的



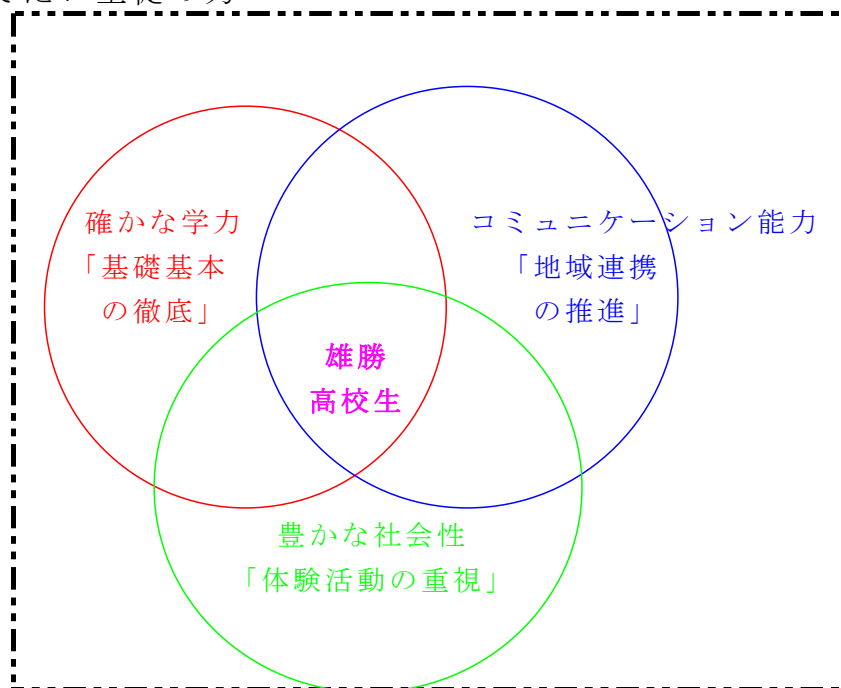
2 学校目標

- ① 地域活性化のために主体的に活動できる
 - ・ 地元産業の即戦力
 - ・ 地域の課題解決能力
- ② 豊かな自然や伝統文化を継承できる
 - ・ 環境保護に熱心
 - ・ 地域の活動に積極的に参加
- ③ 地元の未来を担う
 - ・ 社会的責任を果たす
 - ・ 自立した生活と心豊かな生き方

3 目指す雄勝高校の生徒像

- ① 自立した社会人としての基礎学力や一般教養が身についている生徒
- ② 明るく元気な挨拶や周囲とコミュニケーションがとれる生徒
- ③ 素直で前向きな姿勢と柔軟で安定したバランス感覚を持つ生徒
- ④ 自然の豊かさや伝統文化を継承し創造豊かな感性と意志を持つ生徒

4 育てたい生徒の力



IV 5年間で達成を目指す具体的目標

- ・ 必要とする生徒に対して、地元企業での現場実習または伝統文化の実技研修への100%の参加を目指します。
- ・ 特産物の開発や観光PR行事に部活動に入っていない生徒（「雄勝野

クラブ」という)の自発的な参加率100%を目指します。

- ・地域の課題である高齢者の自立支援や子育て支援、環境問題の解決を行政や地域住民と共に推進していきます。全校生徒の50%の参加を目指します。

- ・卒業時の進路目標達成100%を早期実現し、維持していきます。

具体的な取り組み等

I 学校の魅力や生徒の能力を最大に引き出す柔軟で多様な学校作り

- ・インターンシップ等の体験学習の充実を進める。
- ・地域団体や高齢者による「伝統工芸技術」や「伝統文化」の伝授、伝承に取り組む。



雄勝地域の教育・文化の拠点として情報を発信し、協働関係の構築を図る。

II 特色ある学校作りのための施設設備の充実

- ・空き教室を多目的に活用できるコミュニティールームに



地域交流、学習、調査、研究発表、展示等に活用

キーワード

「コミュニケーションとコラボレーション」
(関係性と協働性)

＊「確かな学力」や「豊かな社会性」は、仲間や大人たちの共同的な活動や体験を通して育まれる。

